

P2-5

JAあづみ自己改革に関する 組合員アンケート調査結果報告

その笑顔、ひとりひとりが宝物。

Smile

2025年 2月号

vol.706



INDEX

06・07.....安曇野豊穰宮農メモ	12.....あつまるとつながるみんなのあした
08・09.....ほっとレポート	13.....あしたへのあんしん
10・11.....すまいる情報チャンネル	14・15.....うれし楽し交流広場

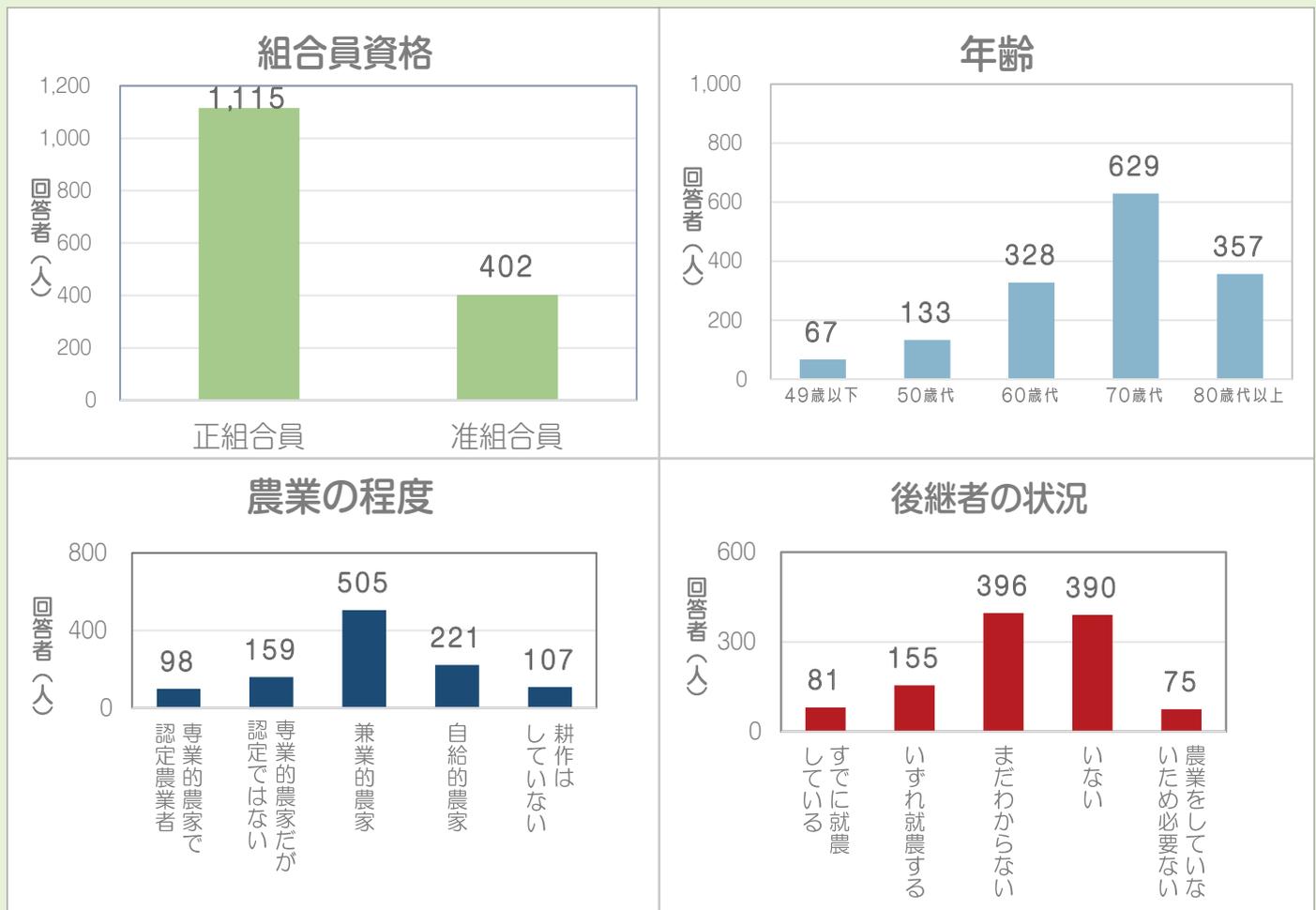
※表紙写真 餅つき大会に参加した親子と職員®(詳細はP9)

JAあづみ自己改革に関する 組合員アンケート調査結果報告

次期3カ年計画（令和7年～9年）の策定に向けて、組合員の評価や意見を把握するため、令和6年7月に管内の組合員を対象としたアンケート調査を実施しました。その結果についてご報告いたします。アンケートにご協力いただきました組合員の皆さまには、心よりお礼申し上げます。今回実施したアンケート結果や、皆さまから寄せられたご意見・ご要望等を真摯に受け止め、次期3カ年計画を策定し、実践してまいります。

※無作為に選定した正組合員1,153人、准組合員424人にアンケートを配布したところ有効回答数は1,517件、回答率は96.1%でした。

1. 回答者の属性

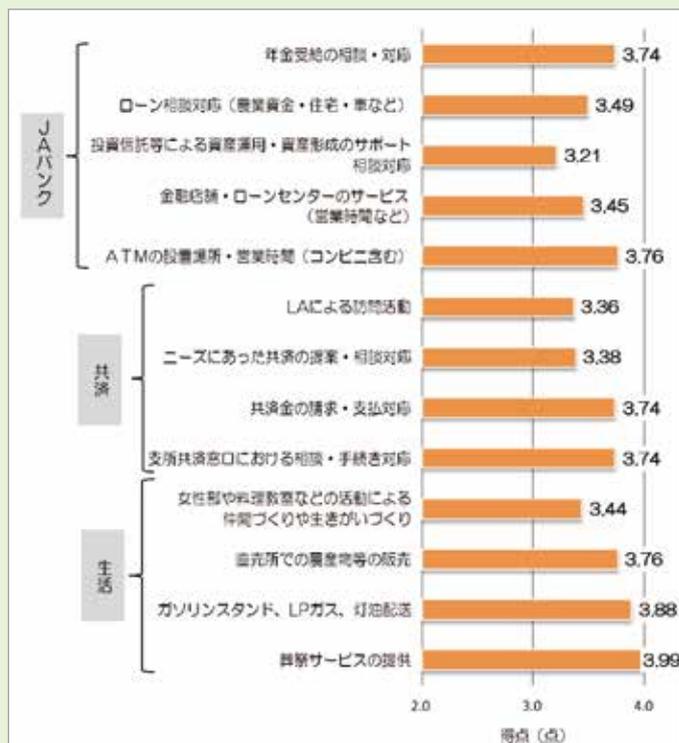


2. 農業・くらし・JA に対する評価

(1) 農業づくりの満足度



(2) くらしづくりの満足度



(3) JA づくりの満足度

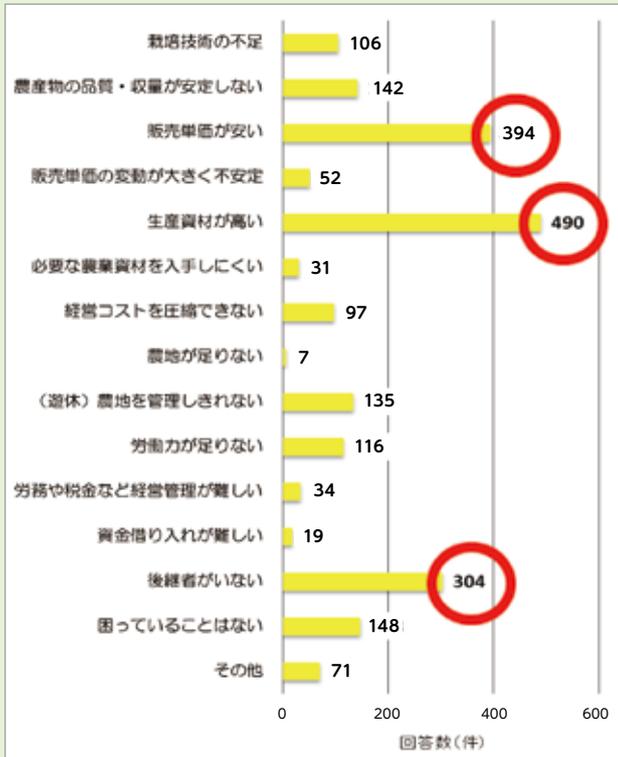


「年金受給の相談・対応」など全13項目中、7項目の得点が3.5点を超えており、高い評価を得ています。

「直売所での農産物等の販売」は3.76点、「ガソリンスタンド、LPガス、灯油配送」は3.88点、「葬祭サービスの提供」は3.99点と、いずれも満足度が高く、生活に関する取り組みについて高い評価を得ています。

最も得点が低い項目でも3.38点と全般的に得点が高い評価となりました。また、「組合員宅訪問活動の取り組み」については、評価していると回答した方が60.4%、どちらとも言えないと回答した方が27.0%で、特に70歳代や80歳代の方々の満足度が高い評価となりました。

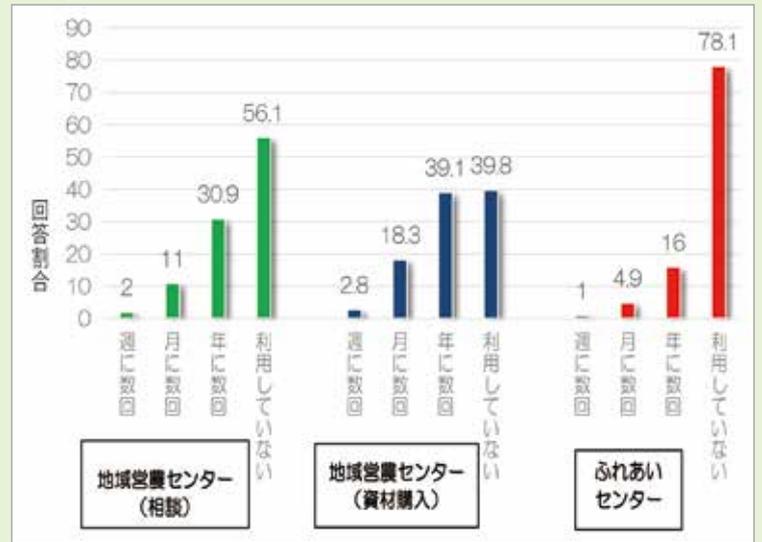
(4) 農業で困っていること



※回答者は正組合員のみ、1人3つまで回答。

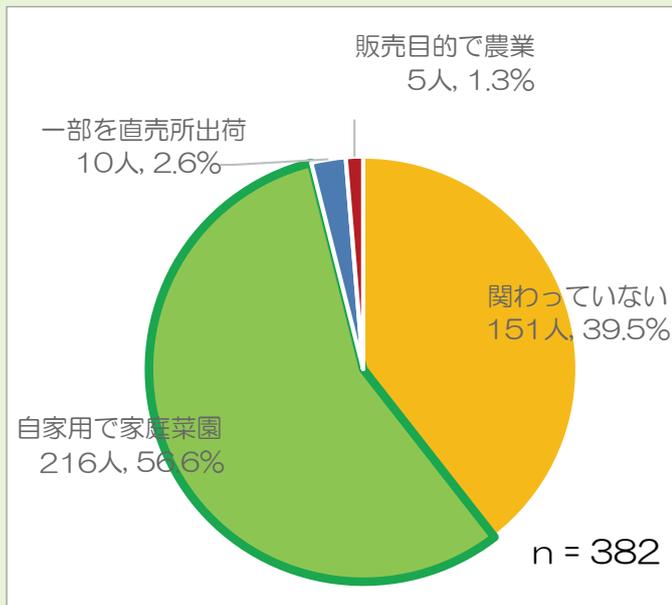
回答が多かったのは「生産資材が高い」が490件、「販売単価が安い」が394件、「後継者がいない」が304件であり、この3項目に回答が集中しています。これらについては、次期3カ年計画でも対策を講じてまいります。

(5) 地域営農センター等の来店頻度



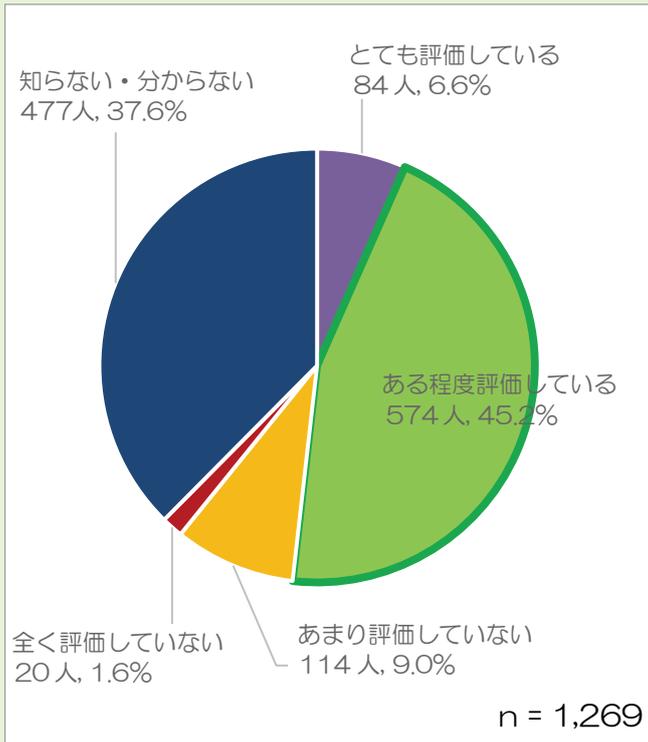
地域営農センターは農家を中心に年数回利用される方が多い一方で、ふれあいセンターについては「利用していない」と回答した方が78.1%に至り、特定の方のみが利用していることが明らかになりました。次期3カ年計画では、効率的な運営方法の検討を進めてまいります。

(6) 准組合員と農業の関わり



准組合員の方に現在の農業の関わりについて質問したところ、最も多かった回答は「自家用で家庭菜園をしている」が216人(56.6%)でした。今後の農業の関わり方については、「家庭菜園で栽培したい」といった農業に関わりたいとの意向が比較的高かったため、みどりの店における定期的な講習会の開催などにより、農業への関心をさらに高めてまいります。

3. 「JA あづみ長期構想・2022-2024 3カ年計画」の実践に対する評価



全体では「ある程度評価している」が45.2%となり、「とても評価している」6.6%と合わせると、5割の人が肯定的に捉えていました。一方、「あまり評価していない」が9.0%、「全く評価していない」が1.6%、「知らない・分からない」との回答は37.6%でした。前回調査で自己改革の取り組みの評価を聞いた回答割合と、ほぼ変わりませんでした。

4. JA に期待すること



JAの事業や活動の中で重要だと思う分野は、

- ① 「後継者・担い手育成」
- ② 「生産販売の強化」
- ③ 「営農指導の充実」

の3項目への回答が特に多く、「農地の維持」が350件、「JAと組合員・地域との関係強化」が294件、「生産基盤の強化」が272件と続いています。

これらの項目については、次期3カ年計画で対策を講じてまいります。

※該当するもの3つに複数回答

豊かな安曇野の大地が育てる安全・安心な自然の恵み。皆さんと一緒に元気な農業をお手伝い!

果実

果樹栽培において冬は剪定作業の時期となりますが、同時に**基肥**の施肥をおこなう時期でもありますので、今月は施肥や肥料のお話を少し致します。

【肥料のお話】

農作物に栄養として吸収させることを目的に畑に施用する資材の事を「肥料」と呼び、農地そのものの性質を変化させる為に施用する資材の事を「土壌改良材」と呼びます。

肥料は施肥する時期によって休眠期の「**基肥**」、生育期間中の「**追肥**」、収穫終了後の「**礼肥**」などに分かれます。いずれも三要素(窒素・リン酸・加里)が中心で、「**基肥**」は年間を通して効かせる為に遅効性のものが多く、それ以外はタイミングよく効かせる為に即効性のものを使います。

石灰や苦土など三要素以外にも重要な成分はいくつもあり、作物によって必要な時期も成分も異なる

ります。単独の成分で構成される「**単肥**」を必要に応じて施肥する事も出来ませんが、農協では用途に応じて単肥を組み合わせた「**BB肥料**」を販売しています。これはビタミンCやBなどの単独のサプリに対するマルチビタミンと同様に、手軽にバランスの良い施肥を行う事が出来ます。

現在、あつみ農協では果樹の総合肥料として「**かじゅまる**」をおすすめしております。こちらは管内の土壤診断結果を参考に作ったオリジナルブレンドの有機入り肥料で、これからの時期に使用する「**基肥**」となっておりますので、土壌改良資材の「**土壌備陣2**」と合わせて是非活用下さい。

尚、実際の施肥量など詳しくは、各地域宮農センター果樹指導員までお問い合わせ下さい。



(三郷地域宮農センター主任 宮腰 政寛)

水稻

年々と水田の管理が難しくなっています。特に相談の多い水田雑草管理について今月は触れてみたいと思います。

① 植代は均平に。

② 水持ちの悪い水田の除草剤は粒剤が効果を発揮。

③ 田面が水から出ると除草剤の効果を発揮しにくく、雑草の発生を助長。効果を生かすには水管理は非常に重要!

④ 水田雑草は植代後活動開始。植代後2〜3日程で田植え。

除草剤は無風なら田植え当日若しくは、翌朝無風微風での散布を推奨。

植代〜田植え初期除草剤散布は植代から3日以内を目安に実施。

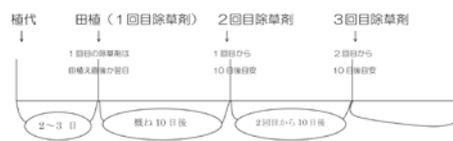
⑤ 2回目の除草剤(初中期剤)は初期散布後10日〜14日後を目安としますが、5月の気温が高い場合、2回目の除草剤は初期散布後10日後を目安に散布。

※初期・初中期の除草剤は枯らすより、抑える事を目的とする!

⑥ 2回目、散布後も雑草が残る場合は、後期剤の使用推奨。

【雑草イネ対策】

雑草イネ対策除草剤使用のタイミング下記図)



雑草イネ対策は初期除草剤の使い方が肝心。記載図を参考に対策。
★**雑草イネ対策は2回目の時期も重要**となり初期散布から10日で散布。
※**雑草イネ発生後の除草剤散布は効果が見込めない。**

ここに示した内容は参考とし、除草剤のラベルを確認し散布しましょう。記載内容は例となります。雑草の発生は水田毎に違つたため相談等がありましたら各地区指導員までお願い致します。



(三郷地域宮農センター課長代理 逸見 守信)

そ菜

2月に入り、早い方は野菜の播種など春作業の準備の時期となりま
す。今年の作付け計画に応じて、土壌
分析や資材の準備を進めましょう。

アスパラガスの産地再生に向けて

1月の営農メモでも紹介致し
ましたが、現在JAあづみではアス
パラガスの作付けに向けて栽培者
を集めています。1月の訪問日等を
活用して栽培に向けたポイント等
を紹介しています。今一度確認いた
だき、ぜひ軽量高収益のアスパラガ
スの作付けのご検討をよろしくお
願います。定植苗の注文を取りま
とめていますので、ご興味のある方
は各地域営農センターまでお問い
合わせ下さい。

ジュース用トマトを栽培しませんか

ジュース用トマトは加工業者と
の契約品目です。作付け前に取引価
格が決まっていますので相場に左
右される心配がなく安定した収入
が期待できます。

主な作業として、畝立て・マルチ
張り・定植作業になります。全て
JAで専用の作業機をご用意して
いますので、作業負担の軽減にも繋
がります。資材関係としては、出荷

時に必要なコンテナが各加工業者
からの貸し出しで対応しています
ので、経費削減にもなり新規栽培の
品目として取り組みやすい品目と
なっています。

たまねぎの追肥について

2月は、第1回目の追肥時期とな
ります。本年度は、比較的定植作業
が順調で生育も良好ではないかと
思います。この時期の追肥は、根の
動きを促進させ球の肥大を促す効
果がありますので、必ず実施するよ
うにしましょう。基本的な追肥時期
としては、2月20日頃より圃場の状
態を確認して実施するようになりま
しょう。降雪や積雪の影響により、
散布ができない場合も想定されま
すが、融雪等の効果により散布した
肥料が溶出し畑に馴染みやすくな
りますので、畑の状態を確認しなが
ら実施するようになりましょう。

詳しくは各地域営農センター又は、各地区担当指導員までお問い合
わせください。



(梓川地域営農センター 唐澤 久智)

産直

今年の栽培計画を立てる時期
になりました。昨年の生育状況は
どうでしたか。例年に比べて良く
なかった場合、土壌診断をおすす
めします。土づくりは生産物を作
る上で大切な作業になりますの
で、土壌診断を活用し、今年の生
産に活かしていきましょう。(詳
しくは、各地域営農センターにお
問い合わせください)

また、直売用の出荷物は時期に
より他の生産者と被ることがあり
ます。自分の得意な品目を育てて
いくのか、他の生産者と出荷物が
被らないようにするのかなどを決
めていきましょう。

《栽培スケジュール》

栽培スケジュールを立てましょ
う。栽培する畑の面積には限りが
あります。それをいかに活用する
か課題になってきます。1品目す
べての面積に作付けしては、収穫
が終わるまで次の作物は作れない
ですし、病気などで失敗のリスク
回避ができません。限りのある畑
で出荷物が途切れないように栽培
スケジュールや品目を考えるのが
大切です。

※アスパラガスは消費者に人気のため、直売所・インショップで
数量増加を求めています。

(ハイジの里 出荷者会員上期売上額ベスト5)

月	1位	2位	3位	4位	5位
3月	長芋 3,540点 156万円	花わさび 5,095点 151万円	精米(コヒカリ) 546点 105万円	わさび 1,169点 85万円	ふきのとう 2,623点 79万円
4月	アスパラガス 4,221点 143万円	長芋 2,912点 118万円	精米(コヒカリ) 583点 113万円	わさび 1,613点 103万円	こごみ 2,108点 69万円
5月	アスパラガス 6,330点 177万円	わさび 1,903点 128万円	精米(コヒカリ) 676点 124万円	野菜苗 9,634点 114万円	キュウリ 4,707点 74万円
6月	タマネギ 3,023点 190万円	タケノコ 2,408点 131万円	精米(コヒカリ) 659点 125万円	キュウリ 6,993点 101万円	わさび 1,319点 79万円
7月	スイカ(小玉含む) 1,159点 230万円	精米(コヒカリ) 730点 135万円	トウモロコシ 4,622点 124万円	わさび 1,778点 109万円	トマト 3,462点 98万円
8月	精米(コヒカリ) 1,401点 325万円	スイカ(小玉) 894点 236万円	ナガナパール 1,391点 200万円	わさび 2,439点 156万円	切花 4,755点 128万円

(販売開発課長 牧田 正樹)

レタス類健全な苗の供給へ 生産者の労力、コスト削減

12月25日 安曇野市堀金の烏川育苗センターで、玉レタスやサニーレタス、グリーンリーフの播種作業が進んでいます。生産者の労力とコスト削減に繋げることを目的に育苗を請け負い共同化し、高品質な苗の生育・供給に取り組んでいます。生産者の要望に合わせて供給するため、1月下旬までの1カ月間で3回に分けて種を播きます。令和7年度は管内15人から、レタス5200本、サニーレタス2万2000本、グリーンリーフ5200本の計3万2400本注文を受けています。

17 一回目の播種作業では、営農指導員5人が育苗土を敷き詰めたトレーに米粒ほどの小さな種を約1万本分、手作業で慎重に播きました。発芽後は、ビニールハウスの暖房機で温度管理をしながら約1カ月間育苗し、本葉が1.5枚から2枚程度まで成長した苗を生産者に配布します。配布後は、生産者が鉢上げをして管理し2月下旬から定植する予定です。

堀金地域営農センターの手塚富康係長は「温度管理に注意して、生産者に喜ばれる健全な苗を育てたい」と話しました。



▲手作業で慎重に種をまく指導員ら

お正月用フラワーアレンジメント教室開催

12月26日 JAあづみ俊ふれあいセンターで恒例の「お正月用フラワーアレンジメント教室」を開きました。女性部員や地域住民ら13人が参加し、それぞれ講師の手本を見ながら、思い思いの形に仕上げました。特に花器がなくてもオアシスに活けラッピングすることにより、見た目もより華やかになりそのまま持ち帰って正月飾りに出来るので大変好評です。講師の森島雅子さんは「今年はお花自体がびっくりするぐらい値上がりしたが、何とか見繕うことができた。葉ボタンなど長持ちするので途中で活け直したりして長く楽しんでほしい」と話しました。また参加者の一人は「初めて参加させてもらったがとても楽しかった。こんなに近くで開催されているので他のイベントにも参加してみたい」と話していました。



▲当日参加した女性部員と地域住民ら

夏秋いちごの重要害虫「アザミウマ」年々被害増加 講演会を開催

12月27日 JAあづみ夏秋いちご部会は、明治大学農学部糸山享教授を講師として招き「夏秋いちごの重要害虫とその管理について」の講演会を開催しました。あづみ管内におけるアザミウマ(主にヒラズハナアザミウマ)の生育サイクルが早まる夏期には被害が5割を超えます。近年、高温や農薬の抵抗性などの影響で対策に苦慮していることから講演会を開催。害虫管理や特徴を解説しました。糸山教授は「早期発見と防除の重要性が鍵となり、一つで対策できるものはない。コストを考慮し「主力」助力「後方支援」の3段階などを重要視してほしい」と述べました。農産課の増田真生指導員は「今回ご講演いただいた内容を基に今後の夏秋いちご指導に役立てていきたい」と話しました。



▲アザミウマの特徴について話す糸山享教授

NPOあんしん「第13回健康寿命をのばそうアワード」で県内初の厚生労働大臣最優秀賞を受賞

12月27日 JAあづみは、穂高神社参集殿で「JAあづみくらしの助け合いネットワークあんしん」の厚生労働大臣最優秀賞受賞報告会を開き、これまでの活動経過や花束の贈呈などが行われました。あんしんは厚生労働省主催の「第13回健康寿命をのばそうアワード」の介護予防・高齢者生活支援分野において県内初となる最優秀賞を受賞しました。長きに渡り地域住民の生きがいづくりに取り組んだことが高く評価されました。

同法人は平成10年3月に新設されたJAあづみ福祉課が前身。同年7月に独立し、25年に特定NPO法人に認定されました。高齢者宅で調理や掃除、草取りなどを手伝つ「有償在宅サービス」人を育てることを目的に食や農業福祉などをテーマに講義を行う「生き活き塾・菜の花とヒマワリを栽培し採取した食用油を学校に提供する「菜の花プロジェクト」など活動は多岐に渡ります。池田陽子理事長は「住み慣れた地域で安心して生きていく、安心して暮らすというそんな思いで一つの活動を作りあげてきた。この賞を受賞したことで更に地域の皆様とともに手を携え、頑張っていく勇気をいただいた。今後も地域・組合員のために安心して暮らせる里を作り続けていきます」と話しました。

同法人は11月下旬に東京都内で表彰式を、12月下旬には安曇野市役所にて表敬訪問が行われました。



▲安曇野市役所で表敬訪問が行われました



▲内田代表理事専務理事から花束を受け取る池田理事長

「安曇野スイス村ハイジの里」 新春初売り大盛況

1月5日

JAあづみ直営の大型農産物直売所「安曇野スイス村ハイジの里」で、新春初売りを行いました。開店前から70人ほどが列をなすほどの盛況ぶり、地元農産物や日本海直送の鮮魚などを買い求める来場者で賑わいました。毎年恒例の福袋プレゼントでは、2000円以上購入した先着130人にリンゴジュースや漬物、酒などの詰め合わせをプレゼントし、わずか20分足らずで終了となりました。後藤祐輔センター長は「毎年恒例となった初売り。毎回、多くのお客様が楽しみにしていた大きな大変ありがたい。売上高も皆様のご支援とご協力により3月から12月累計で昨年比8300万円増と好調に推移している。これからも大勢のお客様に喜んで



▲福袋を受け取る来場者

いただける様な企画を実施し集客につなげていきたい」と話しました。

堀井勇司さん 新品种「あまあづみ」の開発で産業功労を受賞

1月6日

安曇野市は市功労表彰式を、市役所大会議室で開きました。地域社会の発展や福祉の向上などに貢献した13人1団体に表彰状を、15人2団体に感謝状が贈られました。その中で夏秋いちご部会の堀井勇司さんが新品种となる「あまあづみ」を開発し、長きにわたり産業の振興に貢献したとして産業功労を受賞しました。「あまあづみ」は県のオリジナル品種である「サマープリンセス」などを交配し約8年かけ育成。特徴は生理障害が起きにくく、甘くてジューシーな味わいと桃のような華やかで芳醇な香りを持っていることです。堀井さんは「周りの農家に支えられて表彰を受けることが出

来た。今後はあまあづみを安曇野市全体に普及していけるように尽力したい」と話しました。



▲産業功労を受賞した堀井さん

決意を新たに年始の会 農を要に明るい未来を築くために

1月7日

JAあづみは安曇野スイス村サンモリッツで年始の会を開きました。生産者代表や自治体、取引企業、JA役職員ら約150人が出席。新年の幕開けを祝い、関係者が一丸となって農業振興に邁進することを誓いました。宮澤清代表理事組合長は「令和7年度は創立60年の節目を迎えるとともに、2期目の3力年計画がスタートする重要な年。国消国産をコンセプトとした記念事業に取り組みながら、組織の更なる発展に繋げていきたい。また農を要に明るい未来を築くために組合員や関係者各位と力を尽くしていく」と述べました。



▲挨拶する宮澤清組合長

折り紙で作る正月飾りの講習会開催 人の輪が広がるきっかけに

1月15日

JAあづみ女性部温支部は、安曇野市三郷農村環境改善センターで折り紙で作る正月飾りの講習会を開き、女性部員ら11人が参加しました。集まったメンバーは慎重に折り目をつけて、和気あいあいと作業に取り組みました。講師を務めた中嶋篤美理事は「折って組むのは慣れない作業で大変だが、できるようになると飾る楽しみがでる。こういった活動が人の輪を広げるきっかけになれば嬉しい」と話しました。参加者たちは「とても難しかったが、協力して納得するものを作ることが出来た。皆で集まって話をするのは楽しいし、頭の体操にもなる」と笑顔で話しました。



▲出来上がった作品を持ち、笑顔を見せる女性部員ら

児童館と連携「餅つき大会」開催 伝統食を子どもたちに伝承

1月18日

JAあづみ女性部有明支部は安曇野市社会福祉協議会が運営する穂高北児童館で餅つき大会を開きました。乳幼児や保護者、小学生、支部員ら約50人が参加し和やかな雰囲気でした。

支部員からの地域に役立つ活動がしたいとの声と同館の事業「地域の知恵袋」の企画が合った事から開催が決まり今年で2年目となりました。初めて餅をつくといい子子供も多く、順番に杵を持ち、元気な声で「よいしょ」と臼に振り下ろしました。ついた餅は支部員が「コマときな粉をまぶしたり、お雑煮にして、参加者と一緒に食べました。社協の片桐大輔さんは「伝統食を幅広い世代に伝承することや支部員さんの想いが参加者に伝わり地域の知恵袋の目的に沿った行事になった」と述べました。また有明支部長の秋山やいさんは子どもたちの「おいしかったよ!!」と喜ぶ顔に「これからも続けて行きたい」と話しました。



▲餅をつく参加者とJA職員



決算棚卸しによる休業のお知らせ

令和7年2月28日(金)に下記の事業所を休業いたします。

- 各地域・地区営農センター
- 資材配送センター
- 耐久資材センター
- JAファームみどりの店

『第53回組合員代表者集会』開催のお知らせ

第53回組合員代表者集会を令和7年2月27日(木)午後1時より安曇野スイス村サンモリッツ大ホールにおいて開催いたします。

関係組合員及び組織代表者の方々のご出席をお願いいたします。

(総務開発事業部)

スマホ教室



どこの携帯会社でもOK! 初心者の方でもお気軽にご参加いただけます!

場 所: 安曇野スイス村ハイジの里別館 2階小会議室

参 加 費: 無料

募集人数: 1コマ人数15名まで。(先着順、定員になり次第締切り)

※会場ではWi-Fiには繋がられませんのでご了承ください。

	9:30~10:30	10:45~11:45	13:45~14:45	15:00~16:00
2月17日(月)	①あんしん・安全に使うために 安全に使うための詐欺対策	②Googleの使い方の使い方 Googleレンズで検索しよう 他国語を日本語に変えてみよう	③天気アプリを便利に使おう 災害時にウェザーニュースの使い方・河川のライブカメラの見方、地震速報、雨雲レーダーの見方	④Googleマップを使いこなそう 調べたお店を保存しよう 災害時の避難場所の確認・経路の見方
2月21日(金)	⑤はじめてのスマートフォン タスクの切り方、再起動の仕方など 아이폰・アンドロイドに分かれ て基本的な操作を確認しよう	⑥アプリを楽しみましょう アプリの更新の仕方 JAバンクアプリの仕組みを知ろう (当日は登録できません)	⑦LINEを使いこなそう 自分の位置情報を送ってみよう ホームページ情報を送ってみよう	⑧LINEを使いこなそう 送られた写真の保存を試みよう アルバムの作り方

■希望の講座番号①~⑧をお申込みください。いくつ選んでいただいても結構です。

応募締切り: 令和7年2月12日(水)

応募方法: お電話でお申込みください。 ☎ 0263-72-2930 JA あづみ本所総務課

お名前・ご住所・電話番号 希望の講座番号①~⑧ (複数可)

※定員になり次第締め切らせていただきます。

お問合せ: JAあづみ 総務開発事業部 総務課 組織くみあい員センター ☎ 72-2930

「連続職場離脱」の取り組みについて

不祥事などの事故を未然に防止し、健全な事業運営を目的に、各職場に於いて「連続職場離脱」を実施しております。連続職場離脱は、職員が1週間継続して自己の職場を離れ、自己の職場で勤務できない状態を作ること、業務が統一基準に基づき適正に実施されているのかを点検・確認することにより不祥事防止対策とするものであります。

業務に支障のない体制を整え、組合員・利用者の皆様に、ご迷惑のかかることのないよう業務に当たって参りますので、ご理解いただきますように宜しくお願い申し上げます。

なお、期間中は交代職員がおりますのでお客様のご依頼、ご要望等をお伺いいたします。お気軽にお申し付け下さい。

あづみ農業協同組合

代表理事 組合長

宮澤 清

悪質な訪問販売にお気を付けてください

甘い言葉で強引にLP ガス供給先の切り替えを進める勧誘が急増しています。

しっかり対応し、悪質な業者とのトラブルを防止しましょう。すぐ決める前にJAプロパンセンターにご相談ください。

プロパンセンターや各支所、ふれあいセンターに『訪問販売お断りシール』をご用意しておりますのでぜひ、ご活用ください。



※見本
(サイズは50mmです)

お問い合わせ先

JAあづみプロパンセンター 【☎ 0263-73-6860】

ホームヘルパー・デイサービス 介護職員募集のお知らせ

ヘルパーやデイサービスで私たちと一緒に地域で活躍してみませんか。

JAあづみの福祉活動は組合員や地域の方が、住み慣れた家や地域で安心して暮らし続けられるよう、日常生活のお手伝いをしています。

初任者研修・介護福祉士等の資格をお持ちの方、また資格のない方も大歓迎です。

働きながら資格取得をご希望の方は、条件により補助金制度もあります。

お問い合わせ先

総務開発事業部福祉課 【☎ 0263-72-2148】

相談
無料



葬儀・法事 なんでも相談会



葬儀の疑問なんでもお気軽にご相談下さい
お客様の不安を一緒に解決いたします

日時 2月14日 (金) 9時~15時

場所 JAあづみ 豊科支所 〒399-8283
長野県安曇野市豊科4270番地6

● ご相談特典

虹のホールオリジナル
エンディングノート
&
粗品プレゼント



● セレモニー 会員当日入会特典

粗品プレゼント
進呈



● ご自宅への訪問相談 承ります

ご連絡いただき
ご指定の日時に
お伺いいたします



JAあづみ 有明ホール
安曇野市穂高有明1723-1
TEL 0263-83-8345



JA虹のホールとよしな
安曇野市豊科886
TEL 0263-73-6845



JA虹のホールとよしな別館
安曇野市豊科886
TEL 0263-73-6845



JA虹のホールあずさがわ
松本市梓川俣702-4
TEL 0263-78-1050

お問い合わせ・もしもの時は ☎ 0120-721-047

あつまる つながる

みんなのあした

未来の安曇野の「人」と「農地」を守るために

常勤役員、室・事業部長と懇談

12月
19日

JAあづみ
青壮年部

JAあづみ青壮年部は、本所大会議室で「常勤役員、室・事業部長との懇談会」を開催しました。部員やJA役員ら34人が参加し、安曇野の農業について、今後の課題など約2時間にわたり意見交換を行いました。

この懇談会は生産者が日頃感じている想いや要望などを共有し、今後のJA事業に活かしてもらいたいと毎年開催しています。

開会にあたり、帯刀洋亮部長は「問題を解決している人には、個人力だけでは限界がある。手を取り合

ながら、地域農業の活性化や農業者の所得増大、生産拡大を図るための

契機にしたい」と話しました。

懇談会では、「カメムシ対策」や「10年後の安曇野の人と農地をどのように守っていくか」、「コンテナをリースにしてはどうか」などの様々な意見が出ました。

宮澤清組合長は「試練の年であったが、生産者の努力のおかげで生産販売高が90億円に手の届くところまできている。今年度、特に被害の多かった高温障害に対策を講じていきたい」と述べました。



▲意見を述べる帯刀部長



「女性のつどい」開催

安曇野の風景や食を次世代へ

1月
21日

JAあづみ
女性部

JAあづみは、安曇野スイス村サンモリッツで「女性のつどい」を開き管内の女性総代や、女性部員、役員ら約90人が参加しました。西山直美理事による発表を聞いた後、ワールド

カフェで共通のテーマについて話し合いました。女性のつどいは、暮らしの中で地域に根付いた小さな協同活動を広め、住みよい地域社会を仲間と共に築くことを目的に今年で7回目の開催となります。JA女性職員だけで企画や準備、運営を行いました。ワールドカフェは、カフェのようなリラックスした雰囲気です。人数による対話を行う手法です。「コーヒーやお茶を飲みながら」残したい風景・伝えたい味・自慢したい私(たち)の活動」について協議した後、班を変えて「安曇野の食を守るために私たちにできること」について再び話し合いました。その後、各テーブルを回り様々な意見に目を通しました。話し合いで安曇野の食を守るためには、地産地消や農地を次世代へ継承していく重要性を再認識するきっかけになりました。

参加した女性部員は「リラックスしながら多くの女性と意見交換をするいい機会となった。これからもより良い安曇野になるよう自然や食を守り、次の世代へ繋げていきたい」と話しました。



▲活発に話し合いが行われたワールドカフェ



生き生き塾のお知らせ

1月11日、安曇野市の南穂高ふれあいセンターで第21回生き生き塾を開講しました。

金城学院大学の朝倉美江教授を講師に『誰もが幸せになれる「増進型地域福祉」とは～楽しくつながって、支え合えるまちに』を学びました。



あしたへのあんしん

デイサービス
あんしんの里
榎

今年も1月4日より利用者様と元気に顔を合わせ、良いスタートとなりました。「お正月にはどんな美味しい料理を食べましたか？」と話題になり、皆で盛り上がりました。

お正月の雰囲気味わうために書初めを行いました。利用者様の達筆に職員の間で拍手が湧きました。書いた作品は施設内に飾って皆で鑑賞しています。

また恒例の繭玉作りも行いました。カラフルな色で思い思いの形を作り、飾り付けをしました。巳年にちなんで、蛇の形を作って枝に巻き付けました。おやつ時間に調理したものを美味しくいただきながら、皆で無病息災を願いました。



あんしん 広場

福祉相談会のお知らせ

- 【日時】 2月19日(水) 10時~12時
【場所】 JAあづみ南穂高ふれあいセンター
【内容】 福祉の専門家(介護支援専門員・介護福祉士)がわかりやすく相談に応じます。※相談無料 予約優先

ご予約・問い合わせ先

JAあづみ訪問介護事業所 0263-72-2148
JAあづみ居宅介護支援事業所 0263-87-0380

くらしの助け合い活動あんしん

あんしんは会員が「困ったときはお互いさま」の心で支え合う組織です。あんしんは趣旨に、ご賛同いただいた正会員、賛助会員、利用会員の皆様で構成されています。

住み慣れた地で老いても心身ともに元気でお互いに助け合いながら暮らすことのできる「あんしんの里づくり」を目指しています。



お申し込み・ご注文・お問い合わせ先

特定非営利活動法人
JAあづみくらしの助け合い
ネットワークあんしん
TEL.0263-71-2828
FAX.0263-88-2802

デイサービス
あんしんの里
南穂高

12月下旬に毎年の恒例行事となっているクリスマス会が開かれました。今年は利用者の方と職員が一緒に出来る、投げた輪をどれだけ上手に受け取るかのゲームをしました。お互いの息が合わないと成功しない難しいゲーム

で「上手に入らないよ」「結構難しいね」と言いながら楽しんでいました。お茶の時間には、ケーキを皆で食べました。そこでサンタクロスとトナカイの職員からプレゼントがあり、とても喜んでいただきました。

年が明けて新年を迎えると、久しぶりに顔をあわせて「休みの間は美味しい料理を食べた?」「どこかに遊びに行った?」などの話で賑わいました。日中のレクリエーションでは、昔の懐かしい遊びを思い出して福笑いや、双六、カルタ取りなどを楽しみました。



年金相談室

年金の専門家（社会保険労務士または年金相談員）
がわかりやすく相談に応じます。

夜間や週末も開催しております。お仕事帰りやお休みの日にもお気軽にお越し下さい。

日	時	場所
令和7年 2月13日(木)	17:00~19:00	三郷支所
15日(土)	10:00~16:00	有明出張所 梓川支所
19日(水)	9:00~15:00	上川手 ふれあいセンター
3月13日(木)	17:00~19:00	三郷支所

食卓を彩る
旬のレシピ

オーツウェイクイ (サトイモと鶏肉の煮物)

赤堀料理学園
校長
赤堀 博美



ポイント
ポウルに詰めて丸く盛り付けるのが特徴の煮込み料理です。サトイモをゆでてこぼすことでめりを取り、味を染み込みやすくします。

材料(4人分)

サトイモ	600g	A	酒	大さじ3
鶏もも肉	300g		しょうゆ	大さじ3
ネギ	1/4本		砂糖	大さじ1
ショウガ	1片		スープ	400ml
油	大さじ1			

作り方

- ①サトイモは皮をむき、一口大に切って鍋に入れる。かぶるくらいの水を加えてひと煮立ちしたら水を切り、めりを取る。
- ②鶏もも肉はぶつ切りにしてネギ、ショウガはみじん切りにする。
- ③鍋に油を熱し、②の鶏もも肉、ネギ、ショウガを炒め、Aと①のサトイモを加えて中火で20分煮込む。
- ④直径16cmのポウルに③を詰めて皿に空け、残りの煮汁をかける。

CROSSWORD PUZZLE パズル

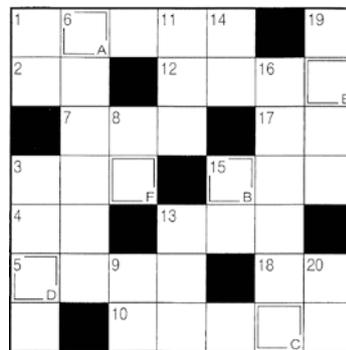
タテのカギ

- ① 教育・勤労・納税は国民の三大――です
- ③ 気仙沼の名物、サメの加工品
- ⑥ さいころや角砂糖はこの形
- ⑧ 封書を数えるときに使う言葉
- ⑨ キラキラ光る――入りのセーター
- ⑪ 風を受けて水上を進みます
- ⑬ 地銀よりも規模が大きめ
- ⑭ といで炊きます
- ⑮ 水で洗い物をするとかじかむことも
- ⑯ 多くが九州で作られている酒
- ⑰ こ、これぐらい平気だい!
- ⑱ チョキがはさみならパーは

ヨコのカギ

- ① 2月14日に職場などで配る人もいます
- ② リンゴの品種。青森県北東部に同じ名前前の市があります
- ③ 天気が崩れて――が強まった
- ④ 寒い日にはこりやすくなる人も
- ⑤ 節分にイワシの頭を刺して飾ります
- ⑦ 紅茶の茶葉とお湯を入れます
- ⑩ 熱心に後輩を指導する、――のよい先輩
- ⑫ 看護師――ともいうナースステーション
- ⑬ 和歌山県には奈良県と三重県に囲まれた――があります
- ⑮ 不利の反対語
- ⑰ 古代インド発祥のエクササイズ
- ⑱ じゅうたんを敷く所

Q. 二重マスの文字をA~Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



(JA広報通信より引用)

応募ハガキの記入方法

(皆様の声をお寄せ下さい)

85 399-8283 安曇野市豊科
JAあづみ総務課 四二七〇一六
マイル編集部 行

① クイズの答え
② 郵便番号・住所
氏名・年齢・職業
電話番号
③ JA・広報誌へのご意見、日頃の出来事など

応募締切
2月17日(月)必着

正解の中から抽選で3名の方に、JAまごころ商品券(1,000円分)をプレゼントします。
(毎月20日頃発送)

A.1月号の答え



解答 A B C D E
① ② ③ ④ ⑤

応募総数 44通

当選者 安曇野市 塩田さん
安曇野市 土屋さん
松本市 竹内さん



JAあづみ管内で農業を営む作り人に密着!!



▲上原光貴さん・久美子さん
・安曇野市穂高在住

光貴さん

(山梨県出身)

久美子さん

(東京都出身)

令和6年4月に就農

『自分の好きなことを仕事に 前職のノウハウ活かし挑戦、』

上原さんご夫婦は、安曇野市堀金の圃場にて長ネギやトウモロコシ、ニンジン、ホウレンソウといった4品目を生育しています。

光貴さんは、北海道の大学を卒業後、自動車部品を加工する治具の設計、農作物の生産や出荷、食品加工といった多種多様な職種に携わり「自分の好きなことを仕事にしたい」という想いで就農に至りました。

農作物は多くの人の手が掛けられていることに感銘を受け、不安もありましたが市職員の後押しもあり、就農に踏み切りました。ご夫婦で山梨県から安曇野市に移住し、二人三脚で農業を営んでいます。実際に商品が店頭に並んで消費者の手に渡る瞬間にやりがいを感じ、安心感を得るそうです。

今後は作付面積や栽培品目を増やしていくとともに、精神・知的障害者らが農業分野で活躍することで、自信をもって社会参画を実現していく「農福連携」にも力を入れていきたいとのこと。お二人は「いずれかは障害を持っているひとでも農作業を通じてともに、日々の生きがいや達成感を一緒に味わってもらいたい」と笑顔で話していました。

今月の星占い



牡羊座 (3/21~4/19)

交友関係が活発化。懐かしい友達との再会も心を潤します。おしゃれに力を入れると開運へ。外出が吉



牡牛座 (4/20~5/20)

予定とは違う方向に話が進みそう。慌てずに話し合っ。丁寧な対応と気遣いで状況は改善へと向かいます



双子座 (5/21~6/21)

好調運。心配事は解消へと向かい、新たな提案がされそう。友人や知人と過ごす時間を大切に。喜びを得られます



蟹座 (6/22~7/22)

忘れていたことが発覚しそう。保険や貯蓄の満期を確認し、必要なら継続を。下旬からはパワフル。習い事にツキ



獅子座 (7/23~8/22)

対人運が活性化。助けてくれる人が現れて計画は前へと進み始めます。旅行に行くのもお勧め。ぜいたくプランが◎



乙女座 (8/23~9/22)

作業の効率化に成功し仕事がスピードアップ。空いた時間は大切な人のために使って。捜し物は見つかる予感



理事会報告

〈1月30日開催〉

- 令和6年度決算方針について 他

スクラム

1月20日現在

- 直売所「安曇野スイス村ハイジの里」登録会員 / 729

みんなの声



新春を迎え春の農業の段取りを考えています。毎年大きくは変わりませんが効率がよく作業したいです。

(安曇野市 内川さん)

只今、子育てに奮闘中です。いつか農業に挑戦したいと野心を持っています。

(千葉県 松井さん)

家の廻りで猿囲いをしながら家庭菜園を楽しんでいます。思った以上の出来で今年もまた頑張っ畑仕事をやるぞ!

(松本市 齋藤さん)

農作業がすこしでもやりやすい良い年になることを願う年女として頑張れるように春の来る日を楽しみにしています。

(安曇野市 望月さん)

編集後記

10月末より広報誌の作成を担当することとなりました。これからよろしくお願いたします。取材先で組合員の皆様からいただく暖かいお言葉が、前に進む原動力となっています。まだまだ至らぬところばかりですが、皆さんの声を励みに今後も頑張ります!

(S.M)



ジュース用トマト 生産者募集

新しく農業に
チャレンジ
してみたい!

生涯現役で
バリバリ
活動したい!

農業経営を
安定
させたい!

収量制限が
ないので
生産しただけ
収入に
繋がります!

作付面積の
拡大を
ご検討の方は
収穫機での
栽培も!

ジュース用トマトの栽培メリット

適切な管理によって
収穫量UPで収入UP!

※農業が初めての人でも農協の栽培講習会などで栽培ポイントを教えてもらえます。

価格が決まっているので、
安定収入が見込めます。

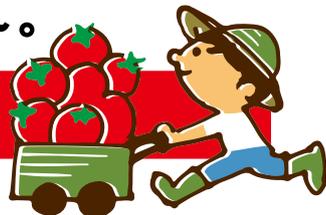
選別は**簡単**です。
規格に合えば、**全量出荷**できます。

※8月～9月の収穫最盛期以外はポイント管理なので、他の品目との組み合わせが可能。

運賃や出荷コンテナ代などの
出荷経費が掛かりません。

10aで6t収穫できた場合は、約31万円の売上げに!

※31万円の売上げを保証するものではありません。※天候等により収量実績は変動します。



栽培希望の方は、お近くのJAまたはJA全農長野野菜きのご課 TEL.026(236)2250 まで



光と風と水のハーモニー

JA全農長野・JA全農長野野菜専門委員会ジュース用トマト部会

あづみ農業協同組合

- スマイル/No.706 2025年2月1日発行
- 発行人/宮澤 清
- 編集/スマイル編集委員会 編集事務局/総務開発事業部総務課
〒399-8283 長野県安曇野市豊科 4270-6
- <http://www.ja-azumi.iijan.or.jp/> ●印刷/有限会社安曇印刷



JAあづみHP

＼SNSで旬な情報を投稿しています／



MATSUMOTO Yamaga F.C.

JAあづみは松本山雅F.C.を応援しています